



ネットヨタ三重&からっとくらぶ編集室 presents

部活応援隊が行く!!

尾鷲剣道
スポーツ少年団
編

世代を超えて高め合いながら、礼儀と感謝を学ぶ武道

尾鷲剣道スポーツ少年団

現在は9人の団員がいて、指導者とともに汗をかく、尾鷲剣道スポーツ少年団。尾鷲中学校武道場に週に2回集まっています。

剣道の技術向上には、共に稽古する仲間や指導者、保護者の存在が欠かせません。常に感謝の気持ちを忘れず、礼儀を大切に、稽古に励んでいます。

Q1 剣道をやりはじめたきっかけと魅力は？

A1 (東さん) 1年生のときに体験会に参加しました。稽古をしているところが礼儀正しくて、かつよく感じました。剣道では稽古も試合も大きな声を出さないといけません。そのことが楽しいです。



リーダー(5年生) 東 弦汰さん (ひかしげんた)

Q4 これからの活動を教えてください

A4 (西先生) 10月には全国道場対抗剣道大会、12月には川口杯(四日市)、年末には寒稽古、正月3日には初稽古を行っています。新年度を迎える前には尾鷲・紀北の小学生、中学生を対象とした体験会もあります。



Q2 リーダーとして心がけていることは？

A2 (東さん) 試合の前にみんなの気持ちをまとめることです。

Q3 得意な技はなんですか？

A3 (東さん) 小手すり上げ面です。相手が小手を打ってきたところを竹刀のしぎですり上げて、そのまま面を打ちます。



Q5 どんなことを意識して練習していますか？

A5 (小林先生) 武道は礼儀がベースです。「礼に始まり、礼に終わる」が基本で、子どもから80代の大人までが同じ立場で、互いに高め合う関係の中、稽古をしています。競技試合があります。子どもも指導者も自分が稽古してきた手を試す場であり、正しかったかどうかを気付く目安です。結果を問うよりも、稽古を重ねた自身の成長と向き合います。



二次元コードを読み取ると
尾鷲剣道スポーツ少年団の
コメントが見られます。



A6 (西先生) 年齢を重ねて体力が衰えても、それなりの体力が続くことができるのが剣道。体が覚えていますので、できない期間があっても復帰できます。かつては50人ほどが集まり、尾鷲市内にも3つの地区で稽古がありました。今は少子化で人数は減っていますが、いろいろな形で普及して、剣道に接する機会を絶やさずしていきたい。

Q6 スポーツ少年団の活動を通して取り組んでいきたいことは？

(小林先生) 剣道は生涯スポーツです。この活動を抜けたとしても継続してやっています。我慢強さも自然と身につきますし、稽古場の夏は暑くて、冬は寒く、人間力も鍛えられます。



ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!